

≪日高特別支援学校の活性化・特色化方針≫

種別	肢体不自由	学部・学科	小学部・中学部 高等部普通科・訪問教育部	R6.5.1 児童・生徒数	(男)67 (女)64	計131
アクセス	西武新宿線狭山市駅より智光山公園行きバス25分智光山公園バス停下車徒歩5分					
<教育課程等>						
<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態に応じた教育課程がある。 類型Ⅰ：小学校、中学校、高等学校当該学年の指導内容、指導目標に準ずる教育課程 類型Ⅱ：授業の遅れ、学習進度を考慮した、前学年対応の教育課程 類型Ⅲ：知的障害の特別支援学校の学習を参考にした教育課程 類型Ⅳ：自立活動の目標、指導の手立てが主となる教育課程 ・個に応じた学習環境が継続されるよう、教育課程委員会が中心となって、それぞれの学部における学習内容について共通理解を図り、系統性のある学習が展開できるよう取り組んでいる。 ・自立活動は、豊かな生活の実現を目指した学びの場であり、教師との良好な関係性を土台としながら、健康の保持、心理的な安定、身体の動き、環境（重力・空気・寒暖・食べ物・人など）とのやりとりなどに取り組んでいる。 						
<学校行事・部活動>						
<ul style="list-style-type: none"> ・社会体験学習・校外宿泊学習・修学旅行等の校外行事を通して、公共交通機関や施設を利用し、車椅子で活動する社会経験を積み重ねている。 ・「産業現場等における実習」は高等部第2・3学年、中学部第3学年を対象に実施、進路講演会では卒業生の体験談などを聴き、卒業後の進路や生活設計を考える学習をしている。 ・積極的に防災教育に取り組み、年間を通じて避難訓練、ショート訓練を実施し、「自分の身を守る」防災意識を身に付けている。 ・運動部・音楽部・美術部の部活動に、年間14日程度、水曜日15:00～15:35中・高等部生徒が参加している。 ・特体連スポーツ大会、障害者スポーツ大会（陸上、ローリングバレー・ボッチャなど）の参加に向けた練習を行っている。 						
<家庭・地域との連携>						
<ul style="list-style-type: none"> ・交流及び共同学習：高萩小学校、坂戸ろう学園 ・小中学校における支援籍学習の実施：7市1町18校21名（令和5年度） ・地域連携：コミュニティスクール、日高市社会福祉協議会、学校支援ボランティア、地域諸機関、本校PTAと共同実施の花いっぱい運動など。 						
<進路>						
<ul style="list-style-type: none"> ・生活介護事業所を利用するケースが多いが、就労系事業所など多岐に渡っている。令和5年度は、高等部の卒業生12名中、生活介護施設10名、施設入所2名の進路実績だった。 ・小学部・中学部の児童生徒は、ほとんどが本校中学部・高等部へ進学している。 ・小学部から高等部の全家庭にキャリア学習ノートを配布し、自己選択や自己決定、気持ちを伝える力、主体的に自己表現できる進路指導を推進している。 						



学校教育目標

いのち輝く
ゆたかに学ぶ
ともに未来を

児童生徒の生活目標

明るく (明朗さ)
正しく (公平さ)
たくましく (力強さ)

目指す学校像

「児童生徒一人一人のよさや可能性を伸ばし、保護者や地域の信頼に応える学校」

本校の特色

- ◇本校の教育方針 児童生徒の希望、保護者の願いを大切に、「将来像」の実現に向けた教育活動を展開し、一人一人の可能性を伸ばしていく
- ◇教育内容の特色 実態に応じた教育課程、防災教育の推進、文化的活動・生涯スポーツの推進
- ◇地域との連携 市内小学校、異なる障害種の特別支援学校、県立高校、大学、地域のサークル活動との交流及び共同学習地域・保護者と連携した防災体験プログラムの実施

人と関わり 仲間と共に活動

小・中学部 支援籍学習

- ・学期1回程度、年3回
- ・小学部・中学部希望者
- ・対面及びオンラインで実施

文化的・体育的活動

- ・ひだか祭
- ・MEET THE MUSIC
- ・体育祭、スポレク集会

食農育学習

- ・野菜の栽培・収穫
- ・調理学習

中・高等部 部活動

- ・年14回程度水曜日に活動
- ・運動部、音楽部、美術部

中・高等部の 各種挑戦

検定・コンテスト

障害者スポーツ大会

- ・漢字、英語、パソコン検定
- ・写真、ポスター、絵の出版
- ・俳句、標語、人権メッセージの応募
- ・陸上・サッカー・バスケットボール・ローリングバレーボール・ポッチャ大会への参加

小学部 教育目標

- ・生活のリズムを整え、自分なりの見通しを持って健康的な学校生活を送る児童の育成
- ・学習活動を通して、周囲に興味関心を持ち自ら関わろうとする児童の育成
- ・教員や友だちとの関わりから自分の思いを伝えようとするとともに、決められた役割に気づき自ら取り組もうとする児童の育成

中学部 教育目標

- ・基本的な生活習慣の定着を図り、健康で安定した気持ちで学校生活を送ることができる生徒の育成
- ・学習への興味関心をさらに広げ知る喜びに気づき楽しく学ぶことができる生徒の育成
- ・他者と協力し合いながら社会生活に必要な知識・技能を学び、決められた役割をやり通すことができる生徒の育成

高等部 教育目標

- ・基本的な生活習慣を調整し、生涯にわたって健康な身体作りに励む生徒の育成
- ・基礎的な学力を生活や仕事にいかすとともに、様々な文化に親しむことができる生徒の育成
- ・集団生活の中で自己の役割を自覚し、協力して課題を達成できる生徒の育成

訪問教育部 教育目標

- ・生活リズムを整え健康的な日常生活を送ることができる児童生徒の育成
- ・生活年齢に応じた学習活動を通して興味関心を広げ、豊かに生活することができる児童生徒の育成
- ・人との共管的な関わりの中で他者との関係性を育て、自分の感情や意思を表出することができる児童生徒の育成

健康・生活を支える専門スタッフ

- ・養護教諭・看護教員・医ケア Co.
- ・特別支援教育コーディネーター
- ・自立活動専任・ICT専任

将来の自立に 向けた体験

社会体験学習

- ・小学部 買い物・生活体験学習
工場見学
- ・中学部 買い物・外食・伝統工芸・電車利用体験
- ・高等部 調べ学習・買い物学習
外食・余暇・IT機器体験
公共施設見学
公共交通機関利用

校外宿泊学習・修学旅行

- ・1泊2日、2泊3日の宿泊体験
- ・校外宿泊学習
小5、中2、高1
- ・修学旅行
小6：ディズニーランド
中3：横浜
高2：東京・千葉方面

自己理解から 始める進路指導

社会生活に向けての学習

- ・高等部校内実習年1回1週間程度
- ・就職支援アドバイザーによる校内実習指導
- ・事業所利用者との合同作業学習
- ・コミュニケーションスキル学習
- ・卒業生講話
- ・キャリア学習ノートの活用

中3から始まる現場実習

- ・中3 長期休業に1～2日体験
進路への意識付け
- ・高2・3 3～5日年2回程度
企業就労、福祉就労
実習後、進路決定